

# 産学官金連携フェア2019みやぎ ビジネスマッチング展示会・商談会 技術シーズ公開シート[研究機関・公設試]

アピール **プリントドエレクトロニクス関連研究所とのネットワーク構築**

ブース番号**35**

|     |                      |
|-----|----------------------|
| テーマ | プリントドエレクトロニクスのプロセス調査 |
| 企業名 | 宮城県産業技術総合センター        |

## 技術シーズの概要

|          |   |
|----------|---|
| どんなシーズか？ | 中小企業が印刷プロセスを検討する際およびプロセス検討時に必要な情報およびネットワーク構築に活用されることが期待される。 |
| 想定する市場は？ | 電子産業, 印刷産業  |
| 特許の有無    | 無   |

## 出展ニーズは？

新たなプロセスを検討している方, 以前行っていたが可能性があるか検討したい方  
(共同研究のパートナーを探しています！)

## 連絡先

|         |   |        |                                 |
|---------|---|--------|---------------------------------|
| 所属部署    | 機械電子情報技術部 電子応用技術開発班   |        |                                 |
| 役職・担当者名 | 主任研究員 小松 迅人   |        |                                 |
| 住所      | 〒981-3206 宮城県仙台市泉区明通二丁目2番地  |        |                                 |
| TEL     | 022-377-8700  | FAX    | 022-377-8712                    |
| URL     | <a href="https://www.mit.pref.miyagi.jp/">https://www.mit.pref.miyagi.jp/</a> | E-Mail | komatsu-ha990@pref.miyagi.lg.jp |

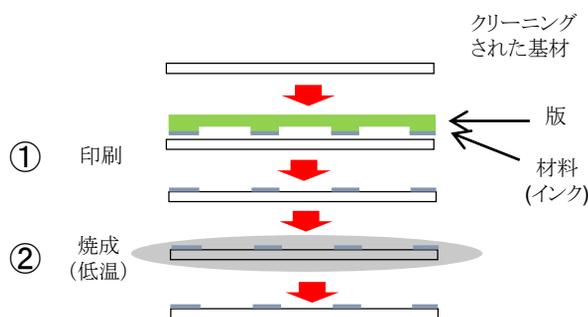


図1 印刷プロセスによるパターニングイメージ

印刷プロセスを用いた電子回路形成技術は、従来の電子回路形成技術と比較すると、成膜とパターニングが同時に行えることから高スループット化、低コスト化や省資源化などが見込まれ中小企業にもプロセスの波及が想定される。

従来と同様の回路形成とは違ったアプローチが必要ではあるが、安定した材料や材料コストが低減されれば、このプロセス技術を構築しておくことのメリットは大きいと考える。